

まさよし通信

発行 鶴岡市議会議員
本間 正芳 [創政クラブ]

議員活動報告



6月議会 代表質問

熊の出没に関連して学校の
見守り活動の関係者について

本間 学校の見守り活動は学校ごとに形態が異なり、交通安全指導や不審者対応、熊との遭遇の可能性もある中で行われています。このような活動に対して、市長がどのように考えているのか伺います。



市長 各小学校では地域の協力を得て見守り隊を組織し、令和6年度には1,224名が登録されています。教育委員会が安全確保のために安全ベストを配布していますが、活動自体はボランティアです。熊との遭遇などの危険も考えられるため、保険の加入や謝金について他自治体の動向を情報収集し、その在り方や必要性を研究・検討する必要があると考えています。

新鶴岡市学校給食センター
整備基本計画について

本間 2月14日の議会主要説明会では、財政削減効果と共に「鶴岡らしい給食」を実現するため、DBM方式による施策を計画的に整備することが説明されたが、3月議会では調理業務の民間委託方針が撤回され、令和6年度内の策定も見送られた理由を再度確認したい。

また、3月の総括質問前に市長と教育委員会が話し合いを行ったのか。その際、役割分担や関係をどのように考えていたのか伺います。

市長 調理業務の在り方について、さらに検討が必要であり、専門的な知見を加えて深入りした検討が求められていることや、2時間喫食という課題に対する指摘があったため見送られることとなりました。

話し合いについては、昨年度、庁内検討委員会が開催され、教育委員会を含む合議の結果、基本計画の年度内策定が見送られ、これに伴って関連予算の修正が財政課で事務的に取りまとめられ、市長提案として議会に諮られました。

役割分担については、地方創生が求められる現下の情勢を踏まえれば、市長部局と教育委員会部局は相互の役割分担に責任を持ちつつも、一層緊密に連携することが重要であり、求められていると認識しています。

本間 教育に関する事務については、首長から独立した教育委員会が主に責任を負っているはずで、首長の指揮命令は及ばず、首長は教育委員会の任命や予算編成を通じてのみ間接的に責任を果たすとされています。しかし、今回の事例では市長からの直接的な発言があり、その点についてどのように考えているのか伺います。

市長 教育委員会がその職務権限の下で事務を管理し、執行するものであるということは承知しております。市長部局と教育委員会部局は相互の役割分担に責任を持ちながら、一層緊密に連携することが重要だと考えています。

本間 「鶴岡らしい給食」とは具体的に何を指すのか、定義が不明なまま建設が進められると業務内容や進め方に関して問題が生じる可能性があると思います。市長が考える「鶴岡らしい給食」の具体的な内容を示してください。

市長 鶴岡市は山形県内で農業の産出額が最も高く、またユネスコの食文化創造都市に認定されています。この地域特有の素晴らしい食材を活用することで、「鶴岡らしい給食」が実現すると思っています。また、学校給食発祥の地などの視点も取り入れながら、教育委員会と連携し、より良い給食の実現に向けて引き続き検討していきたいと思っています。

こどもの遊び場利用料
軽減実証事業について

本間 3月定例会で遊戯施設利用料軽減事業補助金削除の修正案が賛成多数で可決された後、第4回こどもの遊び場に関する協議会が4月16日に開かれ、市長も参加しましたが、この協議会の目的や議題が何であったのか。協議会には全委員15人中、委員長の副市長も入れて過半数の8名だけ

の出席で、何をやろうとしたのか伺います。

市長 屋内遊び場の利用料を軽減する実証事業案について意見を求めるための協議会を開催しました。第4回の協議会では、施設を限定せずに公募することや、議会及び市民への説明では、今後公募も含めて検討することや、プロセスの明確化が必要との意見が出されました。協議会に欠席した委員とも事前及び事後に意見を交わし、これらは補正予算の事業案に反映するとともに、今後の取り組みの参考にいたします。

新図書館整備事業
基本構想について

本間 新鶴岡市図書館整備事業への関心を高め、理解を深める目的で、図書館ミーティングが開催されましたが、参加人数は初回30人、次回22人、最終回18人と減少傾向にあるようです。これらのミーティングや市民との対話を通じて得られた成果や構想について伺います。

市長 デジタルプラットフォームやアンケートで4,026件の意見が収集され、図書館に対する要望として「本を読むだけでなく居場所や交流の場にしてほしい」「郷土資料を活用したイベントや情報発信を」といった声が寄せられました。こうした意見を踏まえ、「学び出あい育つみんなでつくるつかか図書館」を基本理念とし、学び、出あい、居場所、子ども、郷土の5つのキーワードを設定し、新たな図書館の機能やサービスを整理しながら将来像をまとめました。今後はこの基本構想に基づき、図書館の整備検討を進めていきます。

雇用情勢について

本間 いまだに深刻な人手不足の状況が続いており、特に地方産業では外国人材が重要な労働力となっています。昨年度は、市内の技能実習生を受け入れるための窓口である監理団体からの意見を聞き、企業

ニーズの把握を進めてきたことの具体的な成果について伺います。

また、企業の経営活動においてデジタルトランスフォーメーション(DX)の活用が人材不足の問題にどのように寄与しているのか伺います。

市長 令和9年度に移行予定の育成就労制度において、外国人材の転籍が可能になることから、賃金の高い都市部や大企業への人材集中について懸念が寄せられています。そのため、人材確保への支援策や転籍に伴う負担軽減など、中小企業の人材確保と育成を促進する制度運用とするよう要望しています。また、技能実習生の地域との共生に関する課題が指摘されたことから、今年度から地域交流事業も補助金の対象とし支援の拡充を図りました。

人手不足対策として、市の中小企業応援事業補助金や国・県の助成制度の周知、相談窓口の充実を通じ、デジタルトランスフォーメーション(DX)による効率化の促進に努めます。

農業振興について



本間 地球温暖化による異常気象の常態化を前提とした農業振興を図る必要があると考えます。令和5年度は猛暑、6年度は大雨被害、本年度はどう対応し、農業振興を図っていくのか伺います。

市長 気候変動に基づく農業振興が重要であり、特に気温上昇への対策が求められています。高温耐性のある水稻「雪若丸」の作付面積の増加や、高温耐性の新たな品種

種「ゆきまんてん」を令和9年にデビューさせる計画があります。園芸分野でも遮光資材の購入及び井戸掘削を行うサポート事業や、雨よけハウス用の資材購入を支援する事業を通じて、持続可能な園芸産地形成を進めています。

今後も県やJAなどと連携し、栽培技術の普及と資材導入を支援し、持続可能な農業生産の育成に努めます。

朝陽第五小学校のプール整備と水泳指導について

本間 朝陽第五小学校区のグラウンドやプールの整備に関する契約が締結されるそうですが、このプールの整備内容について昨年9月の答弁によると、プールは実質1ヶ月程度の使用に限られ、気温や水温の影響で利用が中止されることもあるとのことでした。水泳授業は外部委託を拡大する方針のなか、新しいプール整備と指導に関する市長の見解について伺います。

市長 プール施設は26校中14校で30年以上経過し、維持管理が課題となっており、昨年度は3校、今年度は5校が学校外のプール施設を利用して水泳授業を行っています。天候に左右されない、などのメリットがある一方、移動時間の長さや他の授業への影響、一度に実施できる人数の制限などのデメリットもあります。よって、児童数の多い学校や移動時間が多い学校については、自校にプールを設置して水泳授業を行い、より充実した指導につなげることを基本に、教育委員会での確に検討していく方針です。

本間 指導は全て外部委託されていたが、今年度は学校内で行うことになり、先生方の働き方改革をどのように進めていくか考える必要があります。市として先生方の働き方改革に対する考えについて伺います。



また、現在スクールバスが増えているが、子供の減少するなか今後の使い方に関して伺います。

市長 校長先生の下での学校管理と、教育委員会としての働き方改革、市政全体の働き方改革、大きくはこの3層構造になっていると思いますが、プールに関しては教育委員会が中心となり、学校現場の状況も十分に踏まえて、検討・対応していく必要があると考えています。

スクールバスについては、自校にプールが無い場合の移動手段としての観点でのご質問かと考えますが、そのとおりで教育委員会において今後検討していただきたいと思います。

本間 教員採用試験から水泳の試験が廃止されたため、泳げない教師がたくさんおり、水泳が苦手な教員にとっては負担となる可能性があります。また、教員不足の問題は徐々に解消されつつあるものの、最近県で増加した教師はわずか四、五人であり、依然として需要には応えきれないと思います。市で全部やれということではありませんが、対応を考えていただければと提案いたします。

もうすぐ8年目が終わります

平成29年に市議会議員になってから、もうすぐ8年になります。1番最初のお願いとして公約に掲げた「鶴岡に人工芝グラウンドを造る」と言うことは現在進行形ですが、ほぼ実現しています。お願い→公約→実現と言うプロセスを経たものをあげると、①人工芝グラウンド②18歳まで医療無償化③第3学区学童保育施設の新設④学校のプール指導を民間へ等いろいろなご要望に応えながら進めてきました。

特にインフラ整備ではたくさんの道路や側溝の整備、また、登下校のスクールバスやその他の整備も、ほとんどできたと思いますが、未だに保留状態のものもあります。近々できることでしょう。走り回った8年間ではありましたが、ここで若い人たちに頑張ってもらおうと思っています。そんな願いも込めながら残り2ヶ月頑張っていきます。

その後について⑬

人工芝グラウンド

鶴岡市高坂の人工芝グラウンド予定地



2025年7月15日現在

小真木原公園いこいの広場(グランドゴルフ場)に自動芝刈り機が設置されました



小真木原公園内のいこいの広場(通称:グランドゴルフ場)への芝刈りの問題は毎年グランドゴルフの方々からお話が在り、市当局に芝刈りをお願いしているところではありましたが、毎年の経費との関係で「自動で芝を刈り機械」を設置していただきました。私も毎年のプレッシャーから解放されそうです。

ほん ま まさよし

本間正芳 プロフィール

昭和31年生まれ/昭和44年 鶴岡市立朝陽第三小学校卒業/昭和47年 鶴岡市立鶴岡第二中学校卒業/昭和50年 山形県立鶴岡工業高等学校卒業/昭和55年 早稲田大学教育学部体育学専修卒業/昭和58年 山形県公立学校教諭(小名部小→朝三小→鶴岡市教育委員会→朝二小→黄金小教頭→大網小校長→朝日小校長→羽黒二小校長)/平成29年 鶴岡市立朝陽第四小学校 校長で退職/平成29年 鶴岡市議会議員選挙初当選(現在2期目)/平成31年 鶴岡地区サッカー協会副会長

【議会での主な役職】▶総務常任委員長 ▶議会運営委員 ▶広報広聴委員 ▶人口減少・地域活性化対策特別委員